



# 青年国際交流 2020 International Youth Exchange

## 「新しい“道”を私がデザインするために」





# 一歩踏み出せば、 人生はもっと豊かになる



内閣府青年国際交流事業は、国際社会・地域社会で活躍する次世代のリーダーを育成することを目的とし、国際的課題についてのディスカッション能力の向上や、国際社会での実践力の向上を図る、青年人材育成プログラムです。

## 内閣府が実施する6つの青年国際交流事業



「東南アジア青年の船」事業
「世界青年の船」事業
国際社会青年育成事業
日本・中国青年親善交流事業
日本・韓国青年親善交流事業
地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」



# 事業に参加すると、こんなことが身に付きます！

## ■ 社会・文化の違いを超えて、対話する能力

私が学んだことは「対話の重要性」。対話を通して新たな発見が沢山あり、今は東南アジアの全ての国がキラキラして見えます。

⇒清水万由さん（2018年度東南アジア青年の船事業参加者）の感想はP.4へ



現地で、人々と目を合わせ、直接話を聞く。そこには、テレビや新聞越しではない、ありのままの中国の姿がありました。

⇒二口朝香さん（2018年度日本・中国青年親善交流事業参加者）の感想はP.10へ



## ■ 日本の良さ等を自分から対外的に発信する能力

船上では、書道などの日本文化を世界に発信するなど、自分のやりたい活動ができました。自分から発信し、環境を提供し、思いを実現することの大切さを学びました。

⇒椿竜太郎さん（2018年度世界青年の船事業参加者）の感想はP.6へ



## ■ 国を超えた共通の社会課題に向き合う能力

一番心に残っている言葉は“Youth Power”。「青年同士が国を超えて結束すれば、社会を変えられるのでは」。そう思わせるほど、議論の場は熱意と変革への希望に満ちあふれていました。

⇒入江さくらさん（2019年度国際社会青年育成事業参加者）の感想はP.8へ



「教育と児童福祉の連携を探りたい」。ニュージーランドの青少年育成に触れ、普段の自身の活動を相対化することができました。

⇒渡邊大介さん（2018年度地域コアリーダープログラム参加者）の感想はP.14へ



## ■ 外国青年とのネットワーク

私たちの団テーマは「情で広げる笑顔の“わ”」。韓国の青年と以前から知っていたかのような友人になることができました。

⇒須摩彩さん（2019年度日本・韓国青年親善交流事業参加者）の感想はP.12へ

